

## 早稲田大学 文学部 世界史 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	昨年の大問8・小問計47問から今年は大問7・小問計42問に減少した。昨年から登場した小論述は、字数は昨年の34文字から25文字に減少したが引き続き出題された。2年続いた地図問題は出題されなかったが、写真は引き続き出題された。難易度は厄介な地図問題がなくなった分、昨年に比べやや易化。

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
〔I〕	先史・農耕・牧畜のはじまり	全問記述式で易しい。5の「森林」は少し前の「草原」と対になっている。あまり難しく考えるとかえって間違える恐れがある。	易
〔II〕	東アジア史上の諸民族	記述式4問は易しい。設問3-③の「戸調式」は西晋の税制。設問4-③のウイグルを滅ぼしたのはソグド人ではなくキルギス人が正しい。設問5-②のマニ教はパルティアではなくササン朝時代に成立した。	標準
〔III〕	都市に関する歴史	設問1の正解bは「パリ伯ユージュ＝カペー」から連想して選ぶ。aのウィーンはオットー1世の首都は誤り。オットーも含め神聖ローマ帝国には特定の首都は存在しない。設問2-bは「前6世紀末」が誤り。設問3のテーベは、『オイディプス』の舞台としては難しいが、エパメイノンダスの名から容易に解答できる。設問5のラヴェンナも東ゴートの首都としてではなくピピンの寄進がヒントになる。	標準
〔IV〕	中国歴代王朝にみる皇帝の「親征」	設問1-イの五代十国は9世紀ではなく10世紀が正しい。設問3-イは「長子」ではなく「末子」、ハは「ウマイヤ朝」ではなく「アッバース朝」が正しい。ニの南宋を滅ぼしたのはフビライ＝ハンが正しい。設問4-ハの猛安・謀克は金の支配民族である女真族を対象とする。漢人は従来の州県制によって統治した。設問5-ハのアルタン＝ハンは16世紀に侵入したタタール(韃靼)の族長。設問6-イの『大義覺迷録』は雍正帝、ロの『四庫全書』は乾隆帝の命による。ニの台湾平定は康熙帝時代のこと。設問7は教科書の本文を念頭におくと案外たやすい。	標準
〔V〕	近代主権国家の成立	設問1-ハはアイユーブ朝ではなくマムルーク朝が正しい。設問2と設問3は基礎的事項。設問4-イはギベリンとゲルフが逆。ロのメディチ家が支配するのはミラノではなくフィレンツェ。ハの金印勅書はカール1世ではなくカール4世が正しい。続く設問5・6・7も基礎的レベル。	易

番号	出題内容	コメント	難易度
[VI]	近代のスペイン美術	設問1は「1838年」をポイントにルイ＝フィリップを選ぶ。設問2の作品は図説などで見覚えがあれば助かるが、ない場合はムリリョと並んでいるというところからの類推となる。設問3の絵画のうちイの「最後の晩餐」とニの「ヴィーナスの誕生」はルネサンスの作品で除外。ロはルノワールの作品で19世紀後半。ハの「夜警」は17世紀のレンブラントの作品で正解となる。設問5は問題文中の「ナポレオン軍による処刑」がキーワードとなる。	やや難
[VII]	米国の外交政策	設問2・設問3は基礎中の基礎。設問4－ハの米英戦争は第4代マディソンの時代。設問5－ハの日露戦争調停も易しい。セオドア＝ローズヴェルトは他に第一次モロッコ事件の調停も行っており、1906年にノーベル平和賞を受賞した。設問7－イは「アメリカの支持を得て」が誤り。彼は大战中の親独姿勢から米国との関係は悪く、それが反米的傾向の強い国民の支持を集める結果にもなった。大統領時代は英・米資本の企業を接収するなど社会主義的政策を行った。	標準

[総合コメント]

例年のことだが、記述式は基礎的内容で失点は許されない。正誤判定には一部に難問が含まれるものの大半は標準的レベルである。正誤のポイントが見つければ正答は意外にたやすい。このポイント(キーワード)をいち早く見つけ出せるかどうかはやはり慣れがものをいう。早大レベルの正誤問題を大量にこなしてポイントを研究しておく必要がある。また、時事問題にも引き続き注意が必要である。小論述のテーマとなった清朝の藩部は、近年躍進著しい中華人民共和国のアキレス腱である民族問題として当然ねらってしかるべきテーマである。また、オバマ大統領の平和賞受賞の際、マスコミがぐどぐど繰り返した「現役の米大統領として初めての」のフレーズから、「現役でなかったら誰がいるの？」というのは当然の間。答えはセオドア＝ローズヴェルトとカーターである。今年でなかった地図問題も復活の可能性が大きいので対策は十分とっておきたい。